0.025‰

転倒・転落

b.入院患者での転倒転落によるインシデント影響度分類レベル3b以上の発生率

Outcome

測定値の定義・計算方法

分子：入院中の患者に発生したインシデント影響度分類レベル3b以上の転倒・転落件数

分母：入院患者延べ数（人日）

活動のきっかけ

入院治療に伴い環境が変化や、身体的、精神的・認知的にも変化し、転倒転落リスクが高くなる。転倒による外傷は，回復過程やリハビリテーションの遅延や，退院後の生活にも影響を及ぼすことがあり，QOLにも影響するため転倒転落予防対策は非常に重要である。

改善活動部門

- 安全管理室

考察

上手くいったこと	課題と感じたこと
• スマートベッ ドシステムや眠りスキャンの使用状況のデータを活 用し、体動センサーの設置状況や、対応応需時間など、患者の転倒転落対策の状況や、転倒後 の再発防止へ向けて分析内容を可視化し、カンファレンス等で活用を行った。 • 転倒転落に関わる視点で安全管理部門チームにてラウンドし環境改善を図った。	• 転倒、転落 事故を完全にゼロにすることは難しい。 • 多職種チームの介入や、患者・家族へも協力頂きオリエンテーションを充実することも必要である。 • 医療チー ム（認知症ケアチーム、薬剤師、リハビリ職員）との連携強化とな を測り、転倒に 至った背景を含めて事例を丁寧 に分析し、対策に活かせるよう実践していく。